

【化学療法部開設にあたって】

外科学講座(消化器・乳腺一般外科) 教授/化学療法部長 谷 徹



構想1年余にわたる準備の結果、本年8月1日から化学療法部が開設され、業務を開始いたしました。施設は1階、外科外来奥の大きな木々に囲まれた場所に増築され、計8床のリクライニングシートを備えています。本来の目的は、診療科がそれぞれ行っておりました外来における化学療法の治療を専門化して集中し、より安全かつ高度な治療として実施することにあります。

近年、医療の質と患者さまへのサービスが社会的に強く求められ、一方では医学界においてもそれに応えるべく、化学療法に関する専門医制度の新設が行われてきました。今後化学療法についても欧米と同様、専門医が集中して行う体制が取られるものと考えられ、また新薬や先進的な化学療法を実施する施設も専門化される可能性が出て参りました。今回の化学療法部新設はこれら全ての課題に対応するためのものでもあります。

本院では、専任の医師、看護師および薬剤師を配置し、化学療法剤の調合を行うことで、最近問題になっていた薬液量の間違いや患者さまの誤認に対する危険性を極力避ける体制を取ることができます。またリクライニングシートはほぼ水平になって休んで頂くことができ、各椅子にはポータブルテレビが設置され、窓の外は緑に包まれた静かな環境で、患者さまの化学療法を遂行できるようになりました。

化学療法を受けられる患者さまには午前、午後に分かれ主治医の診察とその日の治療方針の決定を受け、化学療法部において治療を実施いたします。また、検査部にはその日の検査結果が特別早く確認できる体制を取って頂いております。まだ8床で、本院としては最終目標とする体制ではありませんが、近隣病院にも無い、新しい先進的な治療室として極めて質の高い、患者さまにとって有用なサービスが提供できることになりました。今後、院内各科の協力とスタッフの努力により、患者さまの治療に大きく貢献でき、中央診療部として大きく育っていくことを祈念するものであります。



化学療法部スタッフ



栄養治療部が開設されました!

内科学講座(内分泌代謝・腎臓・神経内科) 教授/栄養治療部長 柏木 厚典



平成17年8月1日より栄養治療部が新設されました。“栄養”が過剰になりますと糖尿病、高血圧、肥満、高脂血症の原因となり、脳梗塞や心筋梗塞の最大の原因となります。一方、悪い栄養状態で手術を受けると、術後の感染症を併発し、また傷の治りが悪く、せっかく手術が成功しても長期間入院生活が必要となる場合があります。滋賀医科大学附属病院では早くからこの問題に取り組み、この分野で活躍する病院として大いに注目されています。具体的にどのような活動をしているかをご紹介します。

栄養サポートチーム (NST) 活動にて、入院時患者様の栄養状態を把握し、医師、栄養士、看護師、薬剤師、検査技師が連携して個々の病態にあった栄養治療を主治医にアドバイスし、安全で、ベストの栄養治療を推進しています。既に毎週40名以上の患者様の治療に関与しています。

栄養教育活動にて、生活習慣病の進展を予防するため、外来や入院中の患者様の栄養治療に関する相談外来を行っています。他の病院や診療所で治療を受けておられる患者様も、かかりつけ医師から簡単な紹介状を頂き生活習慣病センターを受診していただきますと、現在における食習慣の問題点を共に考え、良い指針をお示しすることができます。さらに、健康栄養に関する**公開講座**なども積極的に開催していますのでご参加ください。

また、栄養治療部の栄養教育管理部門では**患者様の食事**を作っています。選択メニューを導入しており、入院中の患者様からは、食べたいメニューを選択して、美味しくいただけるかと評判です。疾病の治療にも貢献し、このような試みは全国的に評判となっています。



NST 回診風景



循環器内科からのお知らせ

内科学講座(循環器内科) 教授 堀江 稔



日本社会の急速な高齢化や食生活の変化から心筋梗塞・狭心症・心不全・不整脈や高血圧症など循環器疾患が急増しており、厚生労働省の統計をみてもこれらの疾患の治療に必要な医療費が近年、著しく増加しています。終戦前後の肺結核が国民病と言われた時代を考えると、これらの循環器疾患は生活習慣病をベースにした、いわば、現代の国民病とすることができます。私ども、滋賀医科大学の循環器内科は、このような社会的なニーズに対応すべく、循環器病のすべてに対応する最先端の医療を提供するよう努めております。このような中で今般、不整脈センターとして不整脈の専門外来を設置しました。この機会に医大病院ニュースの欄をお借りして、日頃、循環器内科が取り組んでいる診療をご紹介します。

心筋梗塞・狭心症のカテーテル治療

急性心筋梗塞は、迅速な対処を要する重篤な病気です。循環器内科では、救急・集中治療部と連携し、24時間体制で患者様を受け入れ、カテーテル治療を行っております。また、同様の病態で起こる狭心症についても積極的に冠動脈造影検査を行っております。このような冠動脈疾患の内科的治療は日進月歩であり、より安全で確実な治療を提供できるよう日夜研鑽しています。

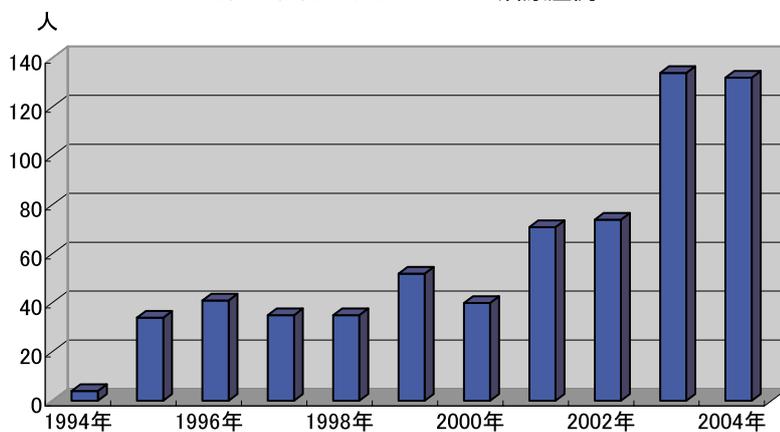
心不全の総合的な治療

多くの心臓病は、最後は心不全という病態に陥りますが、循環器内科は、以前より、心不全に対する神経体液性因子のモニター下の薬物治療に定評があり、多くの患者様を治療してきた実績があります。さらに、2年前からはペースメーカを用いた心不全に対する電気的な治療も施設認定をいただいております。

頻拍性不整脈の非薬物治療

滋賀医科大学附属病院では、WPW 症候群など多くの頻拍症に対するカテーテルを用いた心筋焼灼術の施設認定を、いち早く取得し、その治療成績は全国的にみても高いレベルであり、朝日新聞社の「いい病院」全国ランキングにも選ばれました。さらに、8月からは専門外来として、不整脈センターを開設しました。より一層の信頼と満足を追求する医療を展開したいと考えております。内外にお知らせ頂ければ幸いです。

カテーテルアブレーション治療症例





眼科外来診察日のご案内

眼科講師 西田 保裕

本年度より大路正人教授が眼科診療科長に着任し、網膜硝子体疾患を中心に眼科診療体制の更なる充実に努めております。外来部門では本年7月から一般外来を火曜と木曜にも増設し、月曜から金曜までの毎日、初診・再診の眼科診療を行っております。下記に診療日程表を示します。(H17.9現在)

	月	火	水	木	金
一般外来	目加田 澤田 岡田	大路 古城	村木 加地 原田 石井	向所 海老原	西田 多鹿 柿木
専門外来		網膜硝子体 斜視 緑内障 ロービジョン	眼筋麻痺	網膜循環 斜視 コンタクトレンズ	色覚

料金改正のお知らせ

この度本院では、他病院・診療所との機能分担の推進、安全な分娩の確保を図るため、**平成17年9月1日より**、下記のとおり料金の改正を行いました。

また、新たに沐浴指導料、乳房管理料、新生児食事料の料金設定を行いました。ご了承いただきますようお願いいたします。

記

1. 特定療養費

区 分	現 行	改 正
病院の初診に関する事項 (紹介状なしの初診時負担額)	1,575円	2,625円

2. 交通事故時等の診療報酬金額

区 分	現 行	改 正
1点につき	10円	15円

3. 分娩介助料

区 分	現 行	改 正
時間内 1回につき	100,000円	130,000円
時間外 1回につき	120,000円	140,000円
深夜 1回につき	140,000円	150,000円
休日 1回につき	120,000円	160,000円

4. 新規料金設定

沐浴指導料	3,000円
乳房管理料	3,000円
新生児食事料(1日につき)	2,120円

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第8号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します